

ヨーロッパ旅路(3)

丹羽恒夫



写真1 展示品の一部(モザイクパ
ーケットフローリング)

3. 建築構造材料 常設展示場 (Byggt ianst AB)

ストックホルムの賑やかな通りの一つに Kungs gatan (王様通りと訳したらよいか)と云う通りがあります。この一角に常設の建築構造材料の展示場がありま

す。この展示場は3階

建て建築材料及びその建築方法が実物、或は模型によって説明され、可成の木製或は木を原料とした材料が展示されて居ります。1、2階はそれ等にあてられ、3階は建築に附属する家具、特に台所用の電気器具等例えば電気釜、冷蔵庫、鍋(電気パン)流し、TV等が並べられ、やはり日本と同様御婦人はそちらの方に興味が多い様で1、2階と違い断然女性が多く北

家庭用家具	3階
ドア内装用金具類	
階段テスリの類	
材料、及び組立法	2階
柱壁構造、案内係	
第1図 各階陳列品	1階

欧のスマートな背の高い女性に圧倒され、男性も殆んどいないので私も心臓の強い方でないので3階は敬遠した次第です。1階には案内所があり、建築についての報告、文献、本や、各メーカーのパンフレットが置いてあり、英語も通じるのでストックホルムを訪問される関係者の方は1度ごらんになったら良いと思います。

10月7日は土曜日でヨーロッパの例にもれずストックホルムも土曜日曜日は仕事は休日であり、工場、事務所は休みで仕事関係では何もすることが出来ない。商店も日曜は全々休みであり、土曜でもしめている所もあり午後は完全に休みとなります。

この展示場は幸にして土曜も開いていたので5日の午前中と7日(土)の午前中に展示場を見ることが出来ました。

木構造関係では集成材、モザイクフローリング等が

あり、特に保温構造の多いのも北欧ならではの特色かも知れません。ドアの見本も可成多く中空構造もいろいろなものが多いが一般にガッチリ組まれており、いはゆるひ弱いという感じのは見られなかった。

ハードボードはこの方面の先進国であるだけによく使用して居りドアの表面に使用(上にはスライスドベニヤが貼着してあるが)したり、中芯に使用したり、勿論本来の壁にも使用して居り、ソフトボードもよく使用されている。

柱は直材の集成材が用いられて居る、即ちムクの柱でなく数枚の板をはり合せて柱としているようである壁構造としては断熱のためカッター屑を入れたものも

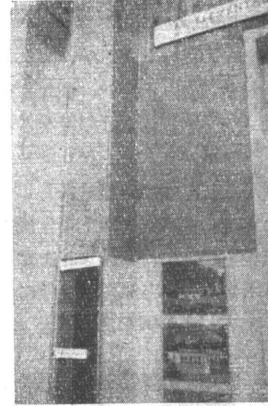
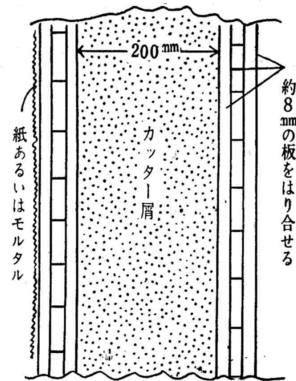
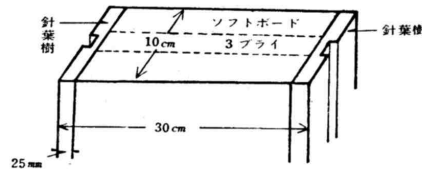


写真2 展示品の一部 保温壁(上部 カッター屑詰 下部 ウェリット)



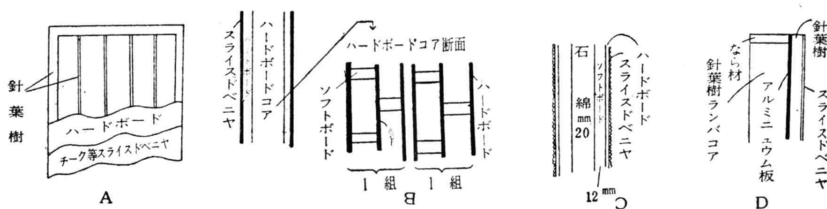
第2図 カッター屑をつめた壁



第3図 ソフトボードと材を組み合わせた壁

ある(第2図)

又組立住宅用として壁にソフトボードと材を組み合わせたものもある。1枚の長さは3m位で、重さ17kgである。(第3図)



第4図 ドアの構造 2,3の例

又板の中に岩綿

等をつめたものもあるがいずれも壁はあとでハードボードなりソフトボード、紙なりを貼るので素挽或は簡単なプレナー仕上げの板をさねはぎして用いている。

又ウェリットというコルゲートタイプのペーパーコアがあり厚物の断熱材料として使用されている。クラフト紙にアスファルトを含浸させて成型したもので、直接その上に、モルタルを塗ったりしている。

ドアの構造としてはさきのにべた様にいろいろあるが、2, 3の例をあげると4図の様なものがある。

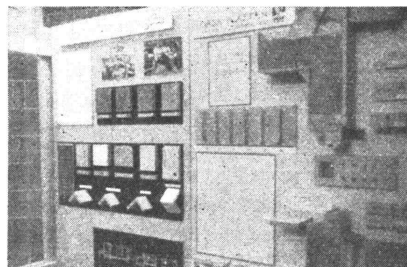


写真5 展示品の一部(パーティクルボード)

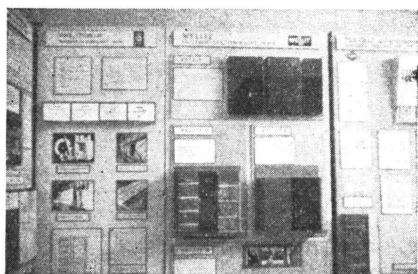


写真3 展示品の一部(中央ウェリット, コルゲートタイプ)



写真6 展示品の一部(木毛板)

建築の梁止めとしてはチベルと釘止めが多く、パーティクルボード板等の止めネジにゴムプッシングを用いたり金属と板との止め金具として(例えばアングルと板と止める)ボルトと特殊な形状の産金をつけて止めた工法等乾式工法用の止め金具等

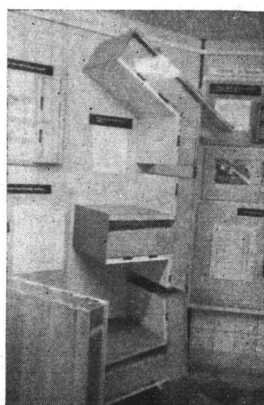
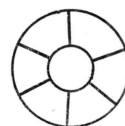


写真4 展示品の一部(石綿利用)

が展示してあった。パーティクルボードは、この国でも製造しているが、輸入も多いようで、この止め構造の模型が展示してあった。その他0.5mm厚位の単板をマッチ箱の様に折り曲げ(20x30mm)表面にハードボードをはった壁等があった。

手のこんだものとしては手摺用の木管があり中空に材を第5図の様にはり合せているものがある。



第5図 中空の手摺断面

モザイクパーケットフローリングは台板をはったものが多く針葉樹を台板として居り3プライ構成で厚いものが多く22mm位である。

(つづく)

- 林指合板研究室 -